

りっぷる

エスコープ大阪機関紙

第256

5

24.

.27

エッコロ制度で 安心して暮らせる 地域づくり

コロナ禍によりさらに個人化がすすみ、地域コミュニティはますます希薄になったと言われています。暮らしの中で困ったことが起きても「たすけて」と声を上げることができる人は少なく、大半の人は自分で何とかしようとかんがべてしまっているのではないのでしょうか。困った時に、ちょっとだけ誰かの手を借りることができたら少し気持ちに余裕がもて、もっと自分らしく、豊かに暮らせそうです。エスコープ大阪が取り組んでいる「エッコロ制度」は、そんな困った時のちょっとした手だすけをしあうたすけあいのしくみです。

今回は、エッコロ制度を活用して組合員同士のたすけあいをされている方たちに、エッコロ制度をどう利用しているのか、利用してどうだったかなどを伺いました。

(聞き手:理事長 吉田 正美)



田邊 和美さん

新家 晴子さん

泉北ニュータウン地域 組合員

田邊 和美さん
新家 晴子さん

**困った時は
遠くの親戚より近くの知人**

吉田 同じ地域で活動をされている子育て中のおふたりですが、今回、お子さんの見守りでエッコロ制度を利用されました。初めてエッコロ制度を利用したそうですが、どうでしたか。

新家 ちょうど一緒にいる時に上の子が幼稚園で熱を出してお迎えに行かなければ

田邊 下のお子さんはまだ小さくて抱っこ
の状態なのに、上のお子さんまで抱っこ
なったら大変だろうと声を掛けました。
今度は私の子どもを預かってもらうこと
になり、安心して活動に参加できます。以
前、自分が体調を崩した時、食事を作るの
もしんどかったのですが、誰にも頼ること
ができなかったことがあります。もっと
早くにエッコロ制度を知っていれば良
かったと思いました。地域の子育てひろ
ばに参加する方たちにも、ぜひエッコロ制
度のことを伝え、子育てで困った時にはお

ならなくなり、下の子の見守りのために
付き添いをお願いしました。田邊さんか
ら『付き添ってあげるよ』と声を掛けら
れ、とても心強かったし、たすかりました。
今度は、田邊さんが組合員活動で帰宅が
遅くなる時はお子さんを預かる約束をし
ています。お子さんに宿題を教えてあげ
る約束もしており、役に立てることを今
から楽しみにしています。

吉田 今回登場の方たちはお知り合い同士
でしたが、近くに組合員の知り合いがいな
いという方も、コーディネーターが近くの
組合員を紹介します。コーディネーター
の紹介が縁で親しくなり、ケアが続いてい
る人たちが趣味と一緒にするようになって
た人たちもいます。エッコロ制度が人と
人をつないでくれます。

エッコロ制度は直接的なケアのやり取
りをするだけの仕組みではなく、間接的
にでも困っている人を助けることができ
るしくみです。そして近くに顔見知りをつ
くり、何かあった時にたすけあえる、豊
かで安心した暮らしができる地域づくり
につながっています。一人暮らしが増え、
核家族が大多数となってきた今、エッ
コロ制度はますます必要となっています。
エッコロ制度をひろげ、自分らしく安心し
て暮らせる地域をつくっていきましょう。



杉本 千賀子さん

徳久 幸子さん

狭山遊園ハイツグループ 組合員

徳久 幸子さん
杉本 千賀子さん

**エッコロ制度で
気兼ねなく、気軽に**

吉田 「狭山遊園ハイツグループ」の方たち

は配達班の仲間でエッコログループを作
り、エッコロケアのやり取りをされていま
す。以前よりたすけあいをしていたそう
ですが、エッコロ制度に加入されてどう変
わりましたか。

徳久 娘がいますが、離れて住んでいるし
仕事をしているので困ったことがあつて
もすぐにたすけに来てもらうことが難し
いです。でも、グループのみんなはご近所
なのですぐにお願いくることができま
す。これまでエッコロ制度を使って入院・退院
時の付き添いや留守の間のお花の水やり
などをしてもらいました。もともと同じ
班なので、消費材を預かるなどのたすけ
あいはしていたのですが、エッコロ制度を

利用することで、それまでより気楽にお
願いくることができました。介護保険を
利用できる年齢ですが、私はご近所の方
のほうがつき合いも長いので安心できま
す。

杉本 「手伝ってもらったからお礼をしない
といけない」と思われると、手だすけする
ほうも気を遣います。エッコロ制度を利
用すれば気軽にお手伝いできます。

「いつでも言つてね」とグループの皆さ
んに伝えていきます。グループの仲間であ
るたすけあいの循環ができるっていいですね。
エッコロ制度のおかげで、それまでよりも
より気兼ねなく、気軽にたすけあいがで
きる仲間になりました。

エコロ制度を次世代につないでいく制度にするために今



ニコロちゃん

エコロは、イタリア語で「はい、どうぞ」の意味です。困った時に手を差し伸べあつたすけあうという意味が込められています。一見かわいらしいウサギですが、逆さにすると両手で大事に包み込むマークになっています。

エコロ共済(制度)は1986年に東京・神奈川・埼玉・千葉・長野の5つの地域生協で始まりました。現在は全国の17生協で、それぞれ独自の制度内容で取り組んでおり、25万人以上が加入し、地域のたすけあいのしくみがひろがっています。エスコープ大阪でも、2015年10月にエコロ制度をスタートさせました。2019年には制度内容を見直し、「できるよ登録」やエコログループ、コーディネーター設置などのしくみを加え、加入者の困ったの声により対応できるようにしました。

時にはたすけられる人に、時にはたすける人に

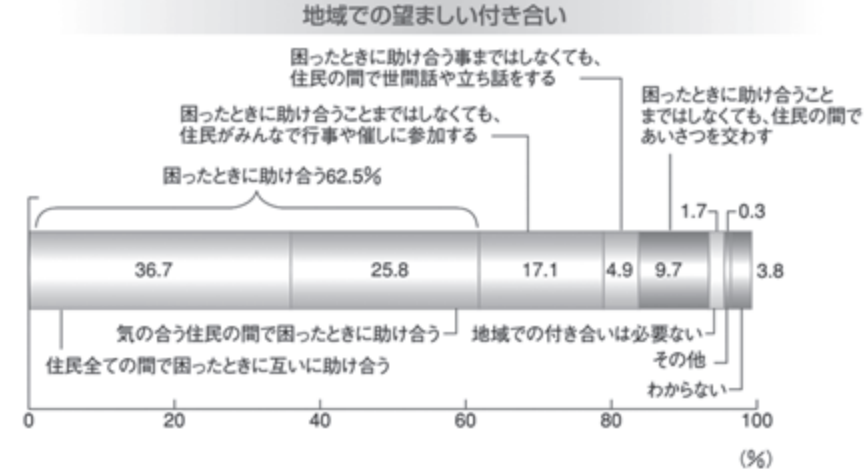
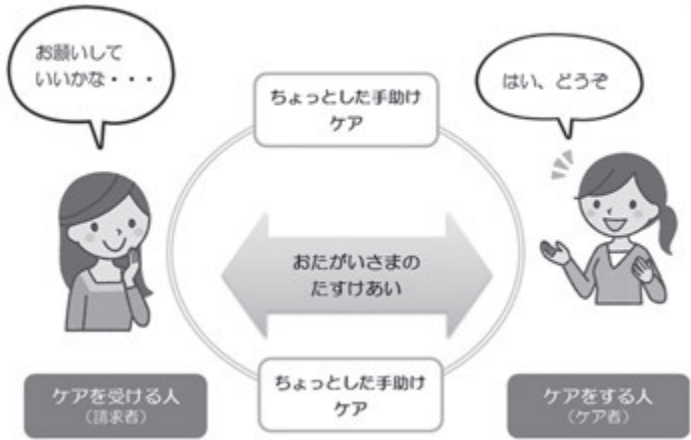
エコロ制度は、日常のちょっとした困ったとき、近くに住んでいる組合員と「ちょっとお願い」「はい、どうぞ」言いあえる関係を、地域の中でつくっていくしくみです。安心して暮らし続けるために、地域で人と人とのつながりをひろげ、顔見知りをつくさんつくり、普段から「コミュニケーション」を取れる関係を築いていくことが大切です。しかし、自分から声をかけるのはなかなか難しいです。

また、私たちを取り巻く社会では、少子高齢化や厳しい経営を背景とした就労環境や条件の悪化、地域コミュニティの希薄化など、生活不安を増大させるようなさまざまなことが問題となっています。このような問題を解決するためには、公助や自助だけではなく、誰もが利用しやすい互助のしくみ、時にはたすけられる人になり、時にはたすける人になり、たすけあいの物々交換をする(お互いさまの関係)を築いていく必要があります。

セーフティネットの構築をめざして

地域コミュニティが希薄化しているといっても、成人の6割ほどの人が住民の間で困った時にたすけあうことを望んでいます。エコロ制度への加入のおさそい時に、「今は困ったことがないから」「(年齢や体調等で)誰かをたすけることは難しいから」とお断りを受けることがあります。加入して毎月100円を拠出するだけで誰かのために役立つことができます。今はケアは必要なくても、いざという時に頼れるというお守りにもなります。また、エコロのケアは、難しい専門的な知識や技術が必要なものとは違って、自分が頼まれてできることとしており、ケア実施のハードルを低くしています。ぜひ、近隣の組合員3名以上でエコログループを作って、定期的におしゃべりをして、住民が主体となってつくり出す地域セーフティネットを築いていきましょう。

全地域で加入者400名増やしましょう!!



(備考) 1. 内閣府「社会意識に関する世論調査」(2004年)により作成。
2. 「地域でのつきあいは、どの程度が望ましいと思いますか。次の中から1つお答えください。」という問いに対し、回答した人の割合。
3. 回答者は、全国の20歳以上の者6,886人。

こんなケアをしてもらいました!

- ・予防接種の時に上の子の見守りをしてもらった。
- ・習いごとの送迎の時に下の子の預かってもらった。
- ・産後美容室に行っている間、子を見守りをしてもらった。
- ・廃品回収に出すものをガレージから出してもらった。
- ・買い物の付き添い・買い物代行をもらった。
- ・よしずやすだれを掛けてもらった。
- ・薬局までの付き添いと送迎をもらった。
- ・本の貸出と返却に図書館に行ってもらった。
- ・葬儀時に共同購入品を預かってもらった。
- ・ベンチの組み立てを手伝ってもらった。
- ・長期留守の間、庭の花木や野菜の水やりをもらった。
- ・高齢のため、ひざが痛くて庭の草引きをもらった。

7月に全地域統一取り組みとして、地域委員会のメンバーが班に出向いたり、電話をしたりして、エコロ制度をもっと多くの組合員に知ってもらい、たすけあいの仲間(加入者)を増やす活動をおこないます。2024年3月現在、エスコープ大阪の組合員1万4512人に対してエコロ制度加入者は1031人(約7.1%)と低い数です。次世代につないでいく制度にするためには、加入者を増やす必要があります。2024年度末にはエコロ制度加入者を400名増やす目標を立てました。ぜひ一緒に地域のたすけあいのしくみをひろげていきましょう。

エコロ制度のケア一覧

- 組合員活動を支えるためのケア
 - 組合員活動中の共同購入品受け取りケア
 - 加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア
 - 加入者家族の入院・通院・在宅療養・介護に伴う加入者へのケア
 - 産前産後のケア(産前6週間、産後1年)
 - 長期に留守をする時のケア(長期=1週間)
 - リフレッシュのためのケア(上限年4回)
 - 儀式(葬儀、結婚式)・行事に伴うケア(学校、幼稚園、保育園等)
 - 高齢の加入者(65歳以上)をサポートするケア
- ※家族間のケアはエコロ制度の対象外です。

河内長野・大阪狭山地域

春のみそづくり

3月16日(土)
大阪狭山市立コミュニティセンター 創作室
(大阪狭山市)

河内長野・大阪狭山地域理事
芝本 美紀

古来より受け継がれる食文化の
伝承をめざしています



みそを作るコツだそうです。

参加した組合員からは「ずっと気になっていたけど、今回初めて作ります」「次回は、子どもを連れてきます」という声が聞かれました。また、「ずっと4kg作っていたけれど、おいく

て足りないのです、今回は8kgに増量しました」という方もおられました。

初めての方や希望者には、作り方や保管方法が載ったパンフレットも渡しますが、ベテラン組合員から足で踏むやり方や丸め方、保管方法(容器や詰め方、場所、カビ対策など)や食べ頃などのアドバイスを受けたり、組合員同士でボウルなどの道具を貸し借りするなど、和気あいあいとした雰囲気ですみました。皆さんも、簡単にできる手づくりのみそに挑戦しませんか？

「おしゃべりサロンたんび」を
始めて4カ月

南河内地域

おしゃべりサロン
たんび

3月16日(土)
丹治はやプラザ
(羽曳野市)

南河内地域理事
山田 恵子



消費材のおやつを試食しながら
みんなでしゃべり

もおられ、居場所として定着してきました。

毎回テーマを決めており、次は何をしようかと参加しているみんなで話合っています。「クリスマスなので、ビーズブレスレットを作りますか?」「スマホの使い方

昨年11月より、「多世代が集うみんなの居場所 おしゃべりサロンたんび」を始めました。月1回、2時間程度の開催ですが、「気軽に来ておしゃべりできるので、毎回楽しみ」という方

ズブレスレットを作りますか?」「スマホの使い方

大阪市南・中河内地域委員会

「薬膳・食養生をゆる〜く
楽しく学ぶ講座」

1月31日(水)
住吉区民センター
クラフト工作室
(大阪市住吉区)

大阪市南・中河内地域委員
平尾 加織

薬膳から学んだ知識を
居場所づくりにつなぐ



んせんべい」と、「きなことるみ」「林農園のウーロン茶」をみなさんに試食、試飲してもらいました。

参加した組合員からは「白湯の作り方」「大葉の保存法」「こむら返り対策」など、いろいろな質問が出て、熱心にメモを取る姿も。「わかりやすい話で

ためになった」などの感想をいただきました。京名さんからは、「なるべく安全な食材を用いることも大切、そのためにはエスコープの消費材を」とのお話もありました。「食べ物ほからだを作る」と言いますが、本当にその通りだと思います。消費材を活用して、元気にいきいきと過ごしたいものです。

最後に、このような機会を地域の居場所で継続的にこない市民が集う場をすすめていきたいと、「居場所づくり」の説明をして「一緒に活動しよう」と呼びかけました。数名から関心を示していただいたので、今後につなげていきます。

なで教え合いができたら…」「老後が心配なので、年金や家計のこと教えてほしいです」「簡単コースターの作り方を習ってきたので、ここでやりたい」などなど、参加者のやりたいことがテーマになっています。材料費が必要な時のみ、参加費(100円程度)を徴収していますが、作らない人はおしゃべりだけの参加でもOK。消費材の試食も好評です。

5月は「消費材でできる、パパッと簡単手抜き試食会」を予定しています。「脳トレ、どんなことしている」「スマホの使い方第2弾をしたい」と

の意見や、他にも、小さなお子さんと一緒に参加できるようなテーマも考えています。この場所に来たら、ほっとする、自分のモヤモヤが解決できるなど、参加する皆さんがまた来たいと思えるような場所にしたいと考えています。

今までは、組合員に地域ニュース『たん』とで案内していましたが、員外の方にも参加してもらおうと、『丹治はやプラザ』に案内チラシを置いてもらうことになりました。南河内地域の組合員の皆さん、員外のお友だちを誘ってぜひご参加ください。

「おおぜいの私」がつくるエスコープ大阪

vol.19『協同組合の歴史②』

生活協同組合であるエスコープ大阪の組織運営について、隔月で連載します。



●国際協同組合同盟(ICA)の設立

1844年の「ロッジデール公正開拓者組合」から始まった協同組合は、2022年現在で世界最大の非政府組織の一つであるICA(1895年設立)に加盟している組織で、112カ国300万の単位協同組合(10億人の組合員)まで広がっています。また世界の就業人口の10%にあたる2億8千万人が協同組合の関係者となっています。日本でも1921年の「神戸購買組合」と「灘購買組合」(現コープこうべ)から始まった協同組合は、4万を超える組織に1億人を超える組合員が加盟する規模になっています。一番組合員数の多いのはエスコープ大阪のような生活協同組合(消費生活協同組合)で835の生協があり、6,700万人の組合員が在籍しています。他にも、私たちの生活に欠かせ

ない分野として農業協同組合(JA)や漁業協同組合(JF)、森林組合(JForest)や、労働金庫、信用金庫、信用組合、中小企業組合なども協同組合の仲間です。協同組合は運動(考え)を事業化する組織です。世界的にも大きな経済規模に成長した協同組合による事業活動を、営利企業とは異なるものとして「社会的連帯経済」と呼びます。

●ICAの協同組合原則

協同組合は自分たちが共通する経済的、社会的、文化的な願いをかなえるために自治的な組織として人々が結合し、一人ひとりが平等の権限をもち、共同で所有し民主的に管理する事業体です。組合員自らが出資し利用し運営することが原則です。

自助・自己責任・民主主義・平等・公正・連帯を基本

的価値とし、組合員には正直・公正・社会的責任・他人への配慮を倫理的価値として求めています。「一人は万人のために、万人は一人のために」の社会を実現するための原則です。

1937年に制定されたICAの7原則は「第1:自発的で開かれた組合員制」「第2:組合員による民主的管理」「第3:組合員の経済的参加」「第4:自治と自立」「第5:教育、訓練および広報」「第6:協同組合間の協同」「第7:コミュニティへの関与」でしたが、食料難や紛争、気候危機など世界の課題解決に向け、協同組合の果たす役割は絶え間なく変わってきています。課題解決に向けた協同組合のアイデンティティーや原則の改定は幾度もおこなわれていますが、特に国連が2015年に制定した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で、だれ一人取り残さない社会を目指したSDGs(持続可能な開発目標)の17のゴールの達成には、協同組合の果たす役割が欠かせないものとなっています。

(つづく)



第11回
理事会報告 <4月8日>

【2月度決算報告】

- 供給高 2億2,866万円(前年同月比104.3%)
※配達日数1日多い
- 組合員数 18,562名(前月比△56名)
- 一人当たりの出資金 92,531円

【3月の放射能検査結果】

3月は連合消費材587検体の放射能検査を実施しました。エスコープ大阪供給分で生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①パート職員就業規則、エスコープ大阪サポートセンター常勤、非常勤職員就業規則の改定
- ②第35回生活クラブ連合会・第15回生活クラブ共済連通常総会代議員の選出
- ③(一社)生活クラブエネルギー事業連合第3回社員総会代議員の選出
- ④生活クラブ連合会・共済連役員候補の選出
- ⑤大阪府生活協同組合連合会理事候補の推薦

【協議事項】

- ①2024年度総代会議案書の提案・意見集約について
- ②前田理事の常務理事役割について
- ③担い手づくり活動(エスチャンネル)のまとめ
- ④2024年度市民による「遺伝子組み換えでない表示」市場調査活動への参加
- ⑤針江親子ツアー 2023の振り返りと2024の実施について
- ⑥見守りサポーターによる見守りの進め方
- ⑦エスコープまつり2024の取り組みについて
- ⑧エスコープ大阪福祉事業所毎の業務継続に向けた計画(BCP)の追加
- ⑨エスコープ大阪福祉事業所毎の業務継続に向けた計画(BCP)感染症対策の追加
- ⑩特定非営利法人ふらっとスペース金剛の委託料の改定
- ⑪泉州地域委員会「7月おやこ交流企画」について

【報告承認事項】

- ①サークル2023下期活動報告と2024上期活動申請

編集後記

以前は春と秋、生協でみそを作っていましたが、子どもが独立し、だんだんとみその消費量が減り、作る回数も減ってきました。

私は、料理が得意ではありませんが、子どもが小さな時、「お母さんのおみそ汁おいしい」とよく言ってくれました。きっとおみそのおかげですね。

春みそはさぼってしまったので、今度秋みそを作ったら子どもものところにも送ろうと思います。(Y)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪
〒590-0151 堺市南区小代727
TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022
<https://s-osaka.seikatsuclub.coop/>



誰もが安心して自分らしく暮らせる地域を実現するには、地域で活動する団体との連帯は欠かせません。そこで、隔月で、エスコープ大阪関連のワーカーズ・コレクティブ(以下、ワーカーズ)に登場していただき、抱負などを語っていただきます。

NPO法人 福祉ワーカーズ
ほーぷ

(堺市南区)

「NPO法人 福祉ワーカーズほーぷ」は、エスコープ大阪が開催したヘルパー3級講座を修了した4名が発起人となつて、1998年5月に立ち上げた福祉ワーカーズです。高齢者だけでなく、子育て世代など多様な地域の人に向けサービスを提供しています。地域の方との交流を大切にしており、設立時よりふれあいイベントもおこなってきました。2004年には地域に必要な事業や活動を応援する「街づくり夢基金」が縁で堺市南区竹城台に拠点を持ち、NPO法人格を取得、2005年には介護保険事業を始めました。

2022年には建物の老朽化により、2ヶ所あった拠点が1ヶ所になってしまいました。新たな場所探しをしましたが、2024年1月に「ほーぷカフェ」をオープンしました。大人数の食事を用意する

のは初めてというスタッフばかりでしたが、2023年9月に解散したワーカーズ・コレクティブ「つむぎ屋」のレシピを譲り受け、カフェの食事とお弁当を提供しています。

おたよりネット



「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

254号1面「次世代への命綱(いのちの農業)をつなぐ」を読んで 紙面モニターHさん

星寛治さんのような先駆者がいたからこそ、今、私たちは有機栽培の米を利用することができているんだなと思いました。もうけ第一の社会に抗うためにも有機農業の生産者を応援していきたいです。

254号4面「いっしょに創る未来」を読んで

紙面モニターOさん

一般の豆腐を作る際に「消泡剤」というものを使用して作られていることを初めて知りました。「豆伍心」は手作業で泡を取り、手間をかけていることも知りました。表示だけではわからない、作り手の熱い思いがいろんな人に伝わったいいなと思ったのと同時に、これからも「豆伍心」の消費材を利用して応援しようと思います。

キトリ

Ripple おたよりネット

(ペンネームOK)

●地域名

●お名前

●組合員コード

●班名

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事會事務局行き
256号(2024.5.27)